

流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

山田 7144-3993 石林 7154-7511

三原 7152-6559

2011.7.1 NO.64



「九条の会・流山」HP : <http://www.nagareyama9.org/>

メール : info@nagareyama9.org

オスプレイ配備

さらに沖縄の米軍基地強化



オスプレイは米軍の主力輸送ヘリとして、今アメリカが軍装備近代化の重点

の一つとして取り組んでいます。

このオスプレイはプロペラを前に向ければ普通の飛行機ですが、上に向ければヘリとして真上に上昇できるという便利なもの。しかし開発途上で重大な墜落事故を4回も起こし、米議会でもその危険性が問題になった機種です。これを米軍は、あの世界一危険ともいわれる沖縄の普天間基地に配備しようとしています。

これに対して、沖縄の自治体は一斉に反対し、地元宜野湾市の安里市長と沖縄県の仲井真知事は、連名で北沢俊美防衛相に質問状を提出しました。

こうした中で政府は普天間基地の名護移転を前提にして代替え基地の滑走路を延長することを米軍と合意していたことが明らかになっています。

まげしま 馬毛島に米軍空港？

在日アメリカ軍再編の過程では、神奈川県のアメリカー厚木基地の空母艦載機部隊は山口県のア



メリカー岩国基地へ移転することになっている。厚木基地のこの部隊は現在、陸上訓練を東京都の硫黄島で行っているが、基地の移転

に伴って、訓練場所も鹿児島県の馬毛島に移すことを検討していることが明らかになりました。

日米の外務・防衛の閣僚協議、いわゆる「2+2」の共同声明で、在日アメリカ軍の訓練の移転検討対象として、鹿児島県西之表市の馬毛島が明記されました。これを受けて25日、西之表市・種子島・屋久島の3つの町の市長と町長、それに議会の議長が西之表市に集まり、対策協議会を開きました。その結果、馬毛島が明記されたことについて、防衛省に出向いて抗議したうえで、地元防衛省の担当者呼んで説明を聞くことを決めました。また、1市3町が一体となって署名活動を行うほか、住民集会を開いて訓練移転への反対運動を進めていくことを確認しました。(裏面参照)

<お詫びと訂正>

前号、池田さんの講演の内容紹介の中で「四国の祝島の人たちは30年間毎週原発反対のデモを続けている。」という文章がありました。「山口県の祝島」の間違いです。

祝島は上関町で、上関原発の対岸の島です。お詫びして訂正いたします。池田さんの間違いではなく、筆者がパソコンで文章を推敲するうちに、間違っていました。

因みにこの上関原発は建設計画が中断したままで、来年10月に「公有水面埋立免許」の期限切れとなりますが、山口県の二井知事は27日、延長は認めない方針を示しました。(「現状では」という条件付きのようですが。)

原発は定期的に休止して点検が必要ですが、運転再開には地元自治体の同意が必要です。各地の原発の運転再開に自治体が同意しなければ、順次活動を停止していき、夏までに日本の原発54基中42基が停止という事態になります。

こわい「普天間移転」交渉の内幕

(日刊ゲンダイ 2010/08/03 より)

「馬毛島」の所有者は都内の立石建設工業の立石勲社長(77)。なぜ、普天間移設は暗礁に乗り上げたのか。馬毛島のオーナーが、鳩山政権の時の極秘交渉の一端を日刊ゲンダイ記者に打ち明けたという記事の紹介です。

馬毛島オーナー独占告白

昨年12月上旬。突然、立石建設工業と立石社長の自宅に東京国税局の強制捜査が入った。グループ企業での不動産取引で損失が出たように装い、所得10億円を隠した。それが“ガサ入れ”の理由だ。ちょうど、与党内で馬毛島が移設先に浮上した時期と重なる。

「実は強制捜査の2カ月前にも同じ件で国税局の指摘を受け、修正申告することで話がついていたのです。なのに、有無を言わせず、調査に乗り込み、馬毛島関連の資料一式を押収していった。その数は段ボール約120箱分にも及びます」

不可解な出来事は続いた。鳩山首相の「5月末決着」発言を受け、与党幹部A氏が立石社長に極秘会談を持ちかけた。その席で与党幹部は押収資料を見なければ、知る由もない事柄をペラペラと話し始めた。

「馬毛島は十数年前に旧平和相互銀行(旧住友銀に吸収合併)の関連会社から譲り受けたもの。土地の担保など権利関係は複雑です。その一端をA氏が開帳したのですから、国税を通じて押収資料が政府全体に流れているのだと悟りました」

馬毛島を「国に売ってほしい」と持ちかけたA氏。立石社長は「売れば価格が高いと批判されかねない。沖縄の米軍用地の半分の賃料で、国が借り上げて欲しい」と譲らない。交渉は数回に及んだが、まとまることはなかった。

「A氏によれば北沢防衛相が、権利関係の複雑さに難色を示す防衛官僚の意向をくみ、クビを縦に振らなかったそうです」

この間にも、鳩山内閣の副大臣が馬毛島を極秘視察するなど、水面下交渉は続いていた。そして、5月末に鳩山前首相がセットした全国知事会の直前、立石社長に“朗報”がもたらされた。

「鹿児島県知事が徳之島案は反対するが、馬毛島案は受け入れる可能性がある」

ところが、知事会の当日に所得隠しの一件が、当局からマスコミに一斉リークされたのだ。

「これで一縷(る)の望みが消えました。旧政権が決めた辺野古移設案は、官僚、政治家、大手ゼネコンの利権の巢窟(そうくつ)といえます。一連の出来事は、背後に何か“大きな力”が働いたとしか思えないのです」

やはり鳩山前首相は、触れてはいけないコトに触れてしまったのでしょうか。鳩山さんは決して無能な人ではないと今でも思っていますが、“闇の力”に屈したということでしょうか。この国は、誰が動かしているのでしょうか。怖い話です。

子供に渡せない教科書

「子供と教科書全国ネット」から

今年は中学校教科書の採択が行われる。「新しい歴史教科書をつくる会」という会が憲法を否定、戦争賛美の教科書を作って各地で教育委員会に採択の圧力をかけています。「つくる会」は内輪もめして分裂し、二社(育鵬社、自由社)から教科書を発行しています。ごく一部で採用されているこんな教科書を子供には渡せません。

<その内容は>

侵略戦争賛美……「国民の多くはひたすら日本の勝利を願い、励ましあって苦しい生活に耐え続けました。」「戦争初期の我が国の勝利は、東南アジアやインドの人々に独立への希望を与えました。朝鮮の3.1独立運動の鎮圧も「最初は非暴力の集会として計画されたが、しだいに大規模な運動に発展した。軍隊が出動し、両者の衝突で多くの死者が出た。」「なんと両者の衝突！憲法改正誘導……現行憲法は「占領下でつくられた」とか「国際貢献を阻害する」などとし、明治憲法や他国の例をあげて徴兵制を当然のように教える。

定例駅宣伝

7月は 9日(土) 15:30～16:30

流山おおたかの森

[カンパはこちらの郵便振替口座へ](#)

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山